鉱山町いくの活性化に係る地域おこし協力隊　募集概要

１、地域おこし協力隊募集について

令和９年度採用の鉱山町の活性化に取り組む地域おこし協力隊員を募集しています。

生野鉱山町の未来を拓くパイオニア（現代の屯田兵）募集！

～地域と協働で挑む鉱山町活性化プロジェクト～

■ プロジェクトの背景

かつて「佐渡の金、生野の銀」と称され、大同２年（807 年）の発見から日本の近代化を支え続けた生野銀山。江戸時代の幕府天領を経て、明治元年には日本初の官営鉱山となり、フランス人技師の招聘などによりいち早く近代化が進められました。

町内には、外国人用の洋館や日本人用の官舎、そして明治 29 年の三菱への払い下げ以降に建てられた数多くの社宅群（甲社宅、茶畑、寺の上など）が建設され、独自の鉱山町が形成されました。この歴史的な町並みは、現在「国の重要文化的景観」に選定されています。

しかし、重要な構成要素として保存が進む建物がある一方で、一般構成要素の把握や保存は手つかずの状態となっている課題もあります。

そこで、いくの地域自治協議会では、文化的景観の重要構成要素である「寺の上社宅」の改修を含め、景観保存と活用の新たな流れを生み出し、鉱山町を活性化したいと考えています。

２、協力隊と進めていきたい内容

- ●「寺の上社宅」の改修を含めた、地域コミュニティの醸成と魅力の発掘
- ●生野の歴史的景観を未来へ繋ぐ「パイオニア（現代の屯田兵)」として、地域住民の皆さんと協働しながら鉱山町の活性化に取り組む
- ●生野の暮らしや歴史に触れながら、新たな鉱山町の魅力発信やコンテンツ作りを行う
- ●ホームページやＳＮＳ等の刷新・情報発信
- ●鉱山町を舞台にしたイベント企画・運営・実施

３、任用条件など

- ● 報 償 費 ３，４９４，４００円（月換算 291,200 円）
- ● 活 動 費 ２，０００，０００円（隊員の活動・研修経費等※家賃等含む）
- ● 活動時間 １，６８０時間／年（月換算 140 時間）
- ● 隊員・市・いくの地域自治協議会との３者による覚書を締結します
- ● ３者に雇用契約はありません

４、募集にかかるスケジュール

11 月～　体験会の受付（希望する日に随時実施します）

１月下旬 面接・提案会

２月上旬 任用者決定・任用決定通知の送付

４月１日 活動開始

５、お問い合わせ先・申込先　※体験会申し込みはロゴフォームからお願いします。 l

朝来市市民協働課（担当）山木　電話　079-672-3065　メール　kyodo@city.asago.lg.jp